

<h1 style="font-size: 48px; margin: 0;">菅生交流</h1>	<p>川崎市立菅生中学校 学校通信 第272号 (2023年度 第10号) 令和6年3月22日</p>
---	---

2023年度を振り返って

校長 山本 篤

「光陰矢の如し」よく耳にします。月日の経つのは矢のように早いという意味で、起源は平安時代と言われています。矢は一度放たれたら最後、二度と戻ってくることはありません。そのため、時間が過ぎ去ることへの憂いとどまらず、時の流れは早く二度と戻ってこないことから、毎日を大切に過ごすようにとの意味合いもあります。

さて、皆さんにとって2023年度はどのような年だったのでしょうか。年度初めは、依然収まらないコロナ禍でスタートし、閉塞感漂う時間が3年以上も続いていました。5月に入り、ようやく2類から5類になったことで、様々な面が緩和され、ようやく普通に生活できるようになりました。この間、私たちは普通の生活、当たり前前の生活がどんなに有難いことを実感してきました。何をすることも感染予防対策が最優先され、大きな制約が課せられた生活。それでも、私たちは様々な工夫と努力を凝らしてこの困難な状況を乗り切ってきました。この経験はこれからの生活に大きな糧となっていくことでしょう。

今年度の菅生中学校は、様々な面で大きな飛躍を果しました。部活動では運動部7種目が県大会・関東大会出場を果しました。文化部も連合文化祭や文化フェスティバル、地域での活躍は顕著でした。1・2年生で臨む新人戦では、男子バスケットボール部の川崎市優勝・神奈川県大会3位は、我校に大きな喜びと自信を与えてくれました。更に、大きな脚光を浴びたのが創立50周年記念式典です。多くの来賓の前でも堂々と立ち振る舞った姿は、長い歴史と伝統を受け継ぐに相応しいものとなりました。数え上げれば限がありません。

先の卒業式で、大活躍してくれた3年生が巣立っていきました。その席には、保護者をはじめ多くの学校関係者、地域の方々が参列しました。皆さんは、そのような方々に見守られ大切にされているのです。あと数日で、2024年度が始まります。1・2年生はそれぞれ2・3年生に進級し、新たに1年生を迎えます。ここからまた新しい菅生中学校の歴史が始まります。まさに今の菅生中学校は、右肩上がりの上昇傾向にあります。これからの皆さんの活躍を大いに期待しています。

～ 「相談室」 スクールカウンセラーが代わります ～

菅生中学校には、様々なことでお困りの時に、生徒の皆さんや保護者の方が利用できる「相談室」があります。来年度から新しく、4年間お世話になった濱田梢先生に代わり、**越水三佐子先生**が着任致します。詳細等は決まり次第お知らせ致しますので、よろしくお願いたします。

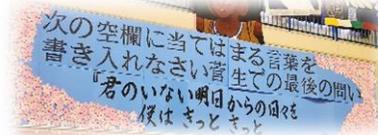


## 祝 第49回 卒業式

3月12日、第49回卒業式が行われました。当日は、あいにくの天候となってしまいましたが、満面の笑顔で、3年生231名は巣立っていきました。残念ながら、在校生は代表者のみの参列となってしまいましたが、1、2年生が心を込めて清掃や飾り付けをしてくれた校舎内はたくさんの愛と思いやりにあふれていました。担任の呼名に堂々と返事をし、卒業証書を受け取る姿からは、新たな門出への希望や強い決意を感じ取ることができました。卒業生代表の松本さんの言葉の中には、これまでのかけがえのない思い出の数々や、同じ学び舎で過ごした仲間たちや教職員への感謝の言葉がたくさん溢れていました。これは菅生中学校で過ごした3年間、生徒たちはたくさんの方々への支えや愛情を感じる中で大きく成長できたからこそ、抱くことのできた感情かと思えます。体育館後方には、三送会で3年生が披露した合唱曲の一節、



「次の空欄に当てはまる言葉を書き入れなさい。菅生での最後の問い。  
『君のいない明日からの日々を僕はきっと』」



が掲示され、卒業証書を受け取り、振り返った生徒一人ひとりに最後の課題を出しているようでした。卒業生231名はそれぞれどんな言葉を空欄に書いたのでしょうか。別々の道を歩んでいくみなさんですが、卒業生代表の言葉にもあったように、“誰ひとり置いていかない”青学年。きっとどこかでまた、それぞれの道が交わることでしょう。ここから新しい毎日の始まりです。「よーい、はじめ。」

義務教育を終えた231名の生徒たちの未来に、いつまでも晴れ渡る青空が続きますように。ますますのご活躍をお祈りいたします。

## 行ってきました！1年生自然教室♪

3月4日から6日に1年生は自然教室に行ってきました。富士見高原スキー場にてスキー実習を行い、八ヶ岳少年自然の家では星座観察などに一生懸命取り組みました。新型コロナウイルスだけでなく、インフルエンザの流行にも注意を払いながらの準備・当日でしたが、出発する時の1年生の顔には、期待と楽しみが溢れていました。スキー中には、雪が降るなど、自然の厳しさと思恵を受けながら、現地のインストラクターの指導の下、何度転んでも立ち上がり、友人たちとも協力しながらスキーを楽しんだの3日間となりました。帰って来た1年生の表情を見ると、一回りも二回りも大きく成長したように感じます。今回の経験を、今後の学校生活でも生かしていきましょう。



インストラクターさんのご指導のおかげで3日間で多くの生徒が滑れるようになりました！